

2025 年 7 月 15 日

坂町ミモザの家 運営推進会議議事録

【日時】 2025 年 7 月 15 日（火） 14：30～15：30

【場所】 坂町ミモザの家 新宿区四谷坂町 6－5

【参加者】 坂町ミモザの家： 吉住 若林

四谷町会長：福光様 利用者様家族：原野（栗生田）様

四谷高相：出羽様（保健師） 藤原様（社会福祉士）

民生委員：欠席

見学：アフラック松浦様、櫻井様

【本日の内容】

偶数月に開催予定でしたが、6 月お祭りに参加させていただき 7 月になりました。

1. 運営状況のご報告

- 7 月現在のご利用者 19 名（うち、短期利用者 0 名）
- お泊り 12 名
- 通い 19 名
- 訪問介護 15 名
- 訪問看護 19 名（医療保険による訪問看護 1 名）

2. 感染症対策の変更について

新型コロナウイルスのニュースがあまり聞かれなくなっていますが、インフルエンザのように身近な感染症となって存在しています。しかし、暑さやご病気によっては常にマスクを装着することが難しい方もおられるため、ご利用者についてはマスクの着用は任意としました。

スタッフは変わらず装着し、吸引やおしものケア等、状況に応じてフェイスシールド、エプロン等を使用していきます。また、定時での換気も行っています。

高相での対策は？コロナの真最中よりはだいぶ緩やかになってきている。受付時のアクリル版は変わらず。職員のマスク着用変わらず。ご利用者さんは自由に任せている。地域の方は？地域の集まりでも誰もマスクしていない。免疫力皆がついてきていると思う。

3. 防災訓練の実施報告

本日消防署の方が来て防災訓練を実施。震度5強発生後、天ぷらからの火事を想定。利用者さんにもヘルメットを着用、ドアを開けたりガラス飛散防止のためにブラインドを閉めたり、通報訓練まで、文書としてあったものを実際にやってみて、わかったことが色々とあった。本日夜のミーティングでも振り返る。

地震では逃げない想定。火事の時間が不安残る。消火器が30秒くらいしか持たないのが意外だった。いかに周りから集める事が重要。

ご家族として：訓練をやってみることが大事だと思うので良かったと思う。利用者さんのヘルメットがすぐにでてきたことが素晴らしい。2階からの車いす避難が難しいというのも実際にやってみて気がついた。色々試してイメージを膨らませていきたい。四谷は電気火災が多いそうなので気をつけようと思う。

町内会長：坂町内にも消化器は10箇所位あるので近くの消化器置き場をチェックしておくことも必要。（四谷の防災マップある）AEDは？

ミモザ：以前から置きたいと思っているが予算がない。町会の予算で用意してもらい、ミモザを置き場所にできないか？医療、介護者が日中はつねにいて、相談にのったりAEDの対応も訓練も一緒にできる、そのような場所を担えればと思っている。

町内会長：町会ではコンビニにお願いしている。

ミモザ：相談窓口としての役割をこれからもっと担い、地域お役に立ちたいと思っています。

4. 嚥下調整食の調理見学・試食会のお知らせ

固形のを食べられない方にペーストにするが、ただ潰すだけでは美味しくなくて食べられない方が多い。いかに安全で美味しく食べられるようなお食事を提供できるかを日々検討しているのでそのことを皆さんにも情報提供できればと思っています。

訪問看護の教育ステーション事業の一環で行います。今後地域に開いた勉強会を開いて行こうと思っています。

5. 意見交換

- ・職員間の安全確認の訓練はしている。出勤できるかできないかによる想定を行っている（高相・出羽さん）→ミモザではWEB171を本日練習中。新宿は近所に職員が住んでいないため近場に住んでいる人しか出勤でいない想定で机上の訓練は必要だと思う。

- ・消防の方からタコ足配線が多いとの指摘。高相でも多いため気をつけようと思う。オール電化だからといえ安全ではない。（高相・藤原様）

- ・土木設計していて紙が溜まっているところにタコ足なので注意します。（福光さん）

・消火器の期限を気にする。オール電化だが停電も心配。ローリングストックやペットボトルを凍らせておくなどいろいろ考えるきっかけになった。ミモザの食事指導のお陰で10kg増した。体重増えて肌艶良くなり、体調崩しにくくなった。困っている人が沢山いると思うので勉強会すごく良いと思う。(原野様)

次回開催予定：9月中旬